

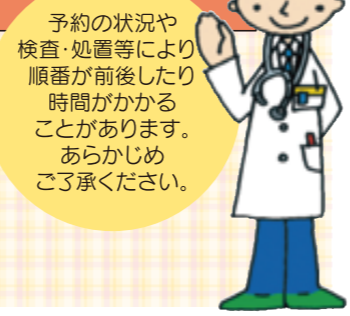
# 外来診療担当医師表

平成30年4月～

時間	診察室	日	月	火	水	木	金	土
午前	診察室 1	整形リハビリ科	整形リハビリ科	一般・糖尿病内科	整形リハビリ科	一般・糖尿病内科	整形リハビリテーション科	熊本大学病院 整形外科医師
	診察室 2	脳神経リハビリ科	一般・糖尿病内科	一般・糖尿病内科	神経内科	脳神経リハビリ科	呼吸器内科	副院長 きの紀 副院長 いさみ勇 副院長 いさみ勇 のむら野村 副院長 きの紀 入来 一安 (1・2・5週) いりき (3・4週) いちやす
	診察室 3	一般・糖尿病内科	循環器内科	循環器内科	一般・消化器内科	一般・糖尿病内科	一般・糖尿病内科	代謝内科担当医師
	診察室 5	一般・消化器内科	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器内科			
	診察室 6	一般・糖尿病内科	一般・糖尿病内科	一般・糖尿病内科	一般・糖尿病内科			
	診察室 1	整形リハビリ科	整形リハビリ科	一般・糖尿病内科	整形リハビリ科	一般・消化器内科	一般・糖尿病内科	代謝内科担当医師
午後	診察室 2	呼吸器内科	一般・消化器内科	一般・消化器内科	神経内科	一般・糖尿病内科	外来診療時間 午前診療 9:00～12:30 (受付は12:00まで) 午後診療 13:30～17:30 (受付は17:00まで) ※なお、急患はこの限りでは ございません。	
	診察室 3	一般・糖尿病内科						
	診察室 5	消化器内科部長	えびはら	えびはら	えびはら			

※内視鏡外来(月～金曜の午前・完全予約制)(緊急時を除く)

訪問診療 (午後)	副院長 なかお 中尾	院長 うえはら 上原	さとう 佐藤	院長 うえはら 上原	院長 うえはら 上原
内視鏡	副院長 なかお 中尾	さとう 佐藤	副院長 なかお 中尾	さとう 佐藤	さとう 佐藤



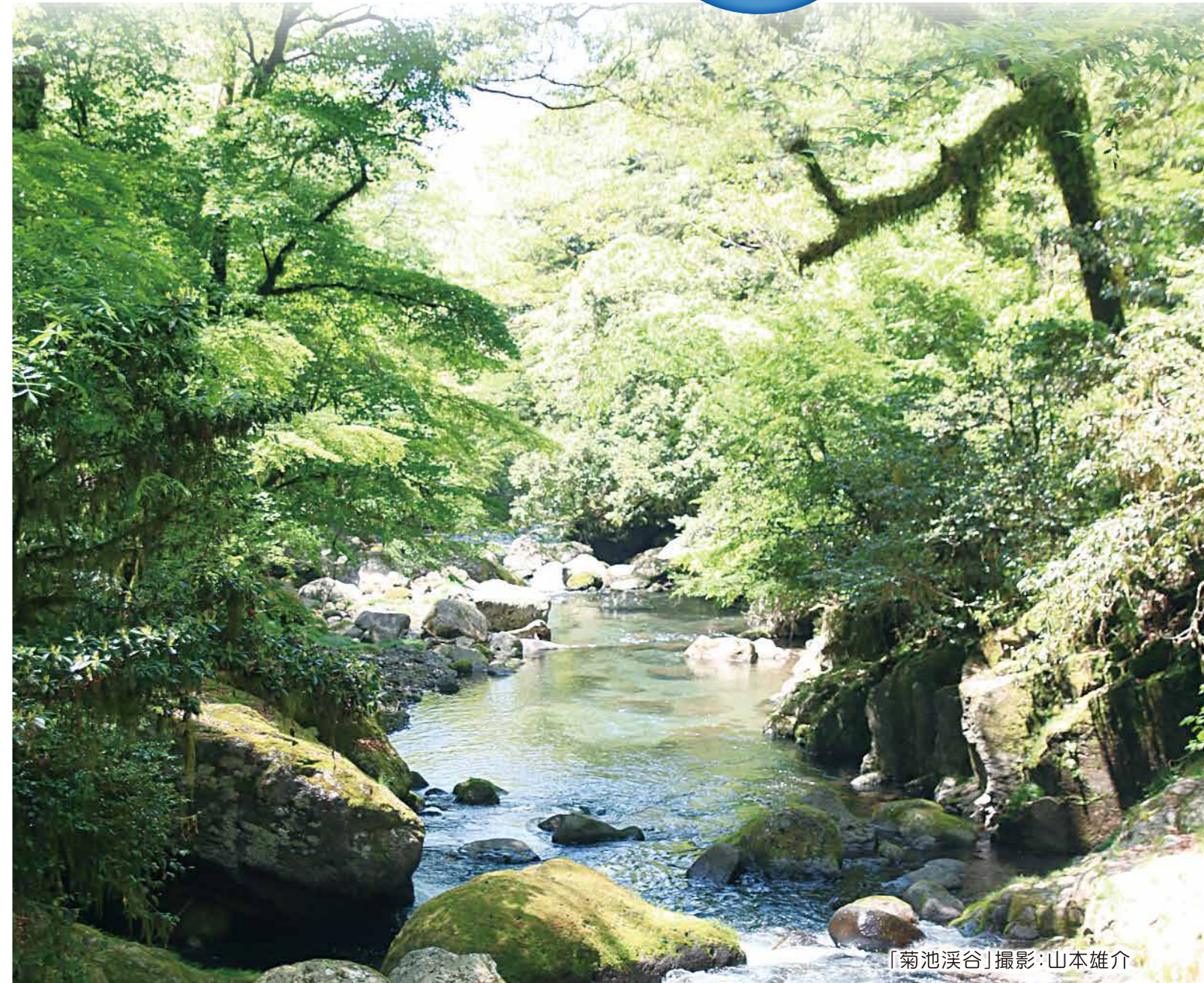
# くまもと成仁病院



〒861-8041 熊本市東区戸島2丁目3番15号  
電話 096-380-7011  
FAX 096-380-9223  
ホームページ <http://www.sejinkai-net.jp>

第45号  
発行日  
平成30年5月31日

だより



「菊池渓谷」撮影：山本雄介

お問い合わせは くまもと成仁病院 (外来受付) Tel.096-380-7011

## お知らせ

- 詳細につきましては  
当院までお問い合わせください
- 6月10日(日) 第18回健康まつり
  - 6月19日(火) くまもと成仁病院連携の会
  - 7月21日(土) くまもと健康支援グループ健康教室  
(バレアホール)
  - 8月25日(土) 夏祭り

## 編集後記

思いのほか早かった桜の開花で春の到来もまた  
スピードをあげてやってきました。今年4月1日は  
我々、医療・介護業界にとっては医療保険・介護保  
険制度の6年に一度のW(ダブル)改正の年になり  
ます。未来の医療、介護、福祉などの進展を占う年  
にもなりそうです。社会保障の充実の一端を担う  
ことができるように加速度をつけて取り組んで参  
りたいと思います。次号もお楽しみに!

## 目次

- 院長挨拶 ..... 2
- Dr.コラム ..... 3
- 回復期リハビリテーション  
看護師認定コースを終えて ..... 3
- 薬のよかハナシ ..... 4
- 健康教室 ..... 5
- ナースエイド ..... 5
- 2018年度診療報酬改定 ..... 6
- 2018年度介護保険改定 ..... 7
- 外来診療担当医師表 ..... 8
- お知らせ ..... 8



理事長・院長  
上原 昌哉

## ごあいさつ

平成30年度がスタートしました。本年度は介護・診療報酬の同時改正の年です。当院は慢性期の病院として、本年度も地域の皆様のニーズを考慮しながら、病棟の編成に取り組んでまいります。

まず、当院の介護病棟ですが、国政を反映して、介護医療院に転換いたします。介護老人保健施設である平成唯仁館とは、別の形で皆様の要望にお応えできる施設を目指します。

医療病棟では、回復期病棟を5床増床し、急性期病院からのリハビリ目的の中長期入院の受け入れをスムーズに行えるよう編成を行います。

なお、患者さん満足度アップのため、待ち時間短縮を目指しますと同時に、職員満足度アップも含めて、電子カルテを導入致しました。しばらくは職員全員が電子カルテに慣れるまで、多少ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご配慮の程宜しくお願い致します。

熊本地震から2年が経ちましたが、まだ地域の方々や益城地域の方々の生活は元に戻っていませんので、今まで以上に成仁会全体で復興応援をしております。本年も健康祭り・夏祭りを計画しております、ぜひ皆様の沢山の御参加をお待ちいたしております。

特定医療法人  
成仁会  
理念

医療・介護・福祉の分野において、人と人とのつながりを大切に、地域社会の健全な発展に貢献できる病院・施設を目指します。

特定医療法人  
成仁会  
基本方針

- 1 患者様・利用者様の権利と意思を尊重し、満足のいく信頼と安心できる医療・介護サービスを提供します。
- 2 地域の医療・介護・福祉事業の中核となり、地域社会の向上に努めます。
- 3 安定した経営基盤を確立し、誇りとやりがいを持って働くことのできる病院・施設を目指します。



## Dr. Column ドクター・コラム

### 新任医師紹介

①年齢 ②最終学歴 ③専門科目 ④趣味特技 ⑤今後の抱負を。



一般・糖尿病内科 **勇 聡**

- ①56歳
- ②熊本大学医学部医学科
- ③糖尿病代謝内分泌内科
- ④音楽
- ⑤糖尿病を中心とした一般内科医として仕事をしてきました。目の前に超高齢化社会を迎える状況下で、当院は以前よりその実績もあることより、私自身が患者様、そして地域の住民の皆様の役に立てればと考えています。



整形外科 **久重 雅由**

- ①48歳
- ②久留米大学
- ③整形外科
- ④テニス・野球
- ⑤4月より3回/週、非常勤にてお世話になっています。地域医療に貢献出来る様頑張ります。よろしくお願ひ致します。

平成30年4月1日付けで2名の医師が入職されました。

## 平成29年度 回復期リハビリテーション看護師認定コースを終えて

回復期リハビリテーション病棟は、2000年の制度誕生以来、毎年増加しており、現在全国では79,000床を超える規模になっています。対象となる疾患に脳血管疾患や大腿骨頸部骨折、肺炎後廃用症候群などの疾患があり、急性期を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、日常生活動作能力の向上による寝たきり防止と、在宅復帰を目的とした、多職種によるチームアプローチが特徴です。

回復期リハビリテーション看護師認定コースの研修目的は、サービスの対象者およびその家族に対し、質の高い看護を提供し、個人・集団・組織に対するリスクマネジメントを行い、多職種との協働とチームアプローチの実践ができる看護師を育成するものです。研修内容は①回復期リハ看護の基礎 ②疾患・病態生理 ③対象の理解と評価 ④専門的看護 ⑤看護共通 ⑥事例検討の6領域の内容を18日間で50講義受講し、研修終了後の4ヶ月間の実践レポートの作成が認められれば回復期リハビリテーション病棟認定看護師として活動できるようになります。

H30年1月13日に研修が無事終了し、現在は全国から集まった同じ回復期リハビリテーション病棟で働く受講者達と実践活動に取り組んでいます。研修で受講した内容は大変興味深く、専門の講師により実技を含む様々な内容を勉強させて頂きました。今回学んだ事を病棟スタッフ全員に伝達していき、今後の退院支援に活かしていくとともに、多職種と協働し業務に取り組んでいきたいと思ひます。



# 薬のよかハナシ vol.7 めまいのハナシ

春先になるとめまいの症状を訴える患者さんを見かけます。季節の変わり目は自律神経が乱れやすく、それに伴ってめまいを起こすこともあります。しかし、めまいが起こる原因はそれだけではなく、様々な原因によって起こります。

今回はそんなめまいについて、お話しさせていただきます。

私たちのからだでは、耳、眼、筋肉などからの情報が神経を伝って脳に送られひとつにまとめられます。その情報が全身の筋肉に伝わり、からだのバランスを正常に保っています。しかし、情報の入力源である耳、眼、筋肉からの情報に異常やズレが生じるとバランスが崩れ、めまいが起こります。

めまいの種類は、グルグル目が回る『回転性めまい』を症状とすることが多い末梢性めまい、フワフワふらつく『浮動性めまい』を症状とすることが多い中枢性めまい、クラツとする『立ちくらみによるめまい』の3つに大きく分けられます。

私たちのからだには、姿勢のバランスを保つ機能が備わっています。この機能に異常を来すと、めまいが起こります。その機能をつかさどる場所のひとつが、耳です。

その他、脳や神経に異常がある場合、血圧の変動に関係する全身の病気、さらには不安や心配事、ストレスなど、原因はさまざまです。

では、めまいに関係する主な疾患について紹介します。

めまいを起こすのは耳が原因となる割合が多いです。内耳の前庭にある耳石がはがれ、からだのバ

ランスを保つ器官である三半規管に入り込んでしまう結果めまいが起こる、良性発作性頭位めまい症は、めまい患者の20～40%程度で、耳の異常が原因で起こるめまい疾患の中で最も多い割合を占めます。また、ダイビングなど急激な圧の変動によって起こる外リンパ瘻(ろう)、中耳の炎症が内耳に影響を及ぼす中耳炎によるめまいなどがあります。中枢性めまい疾患は脳に関係するため、危険なめまいです。早期に鑑別し、適切な処置を行う必要があります。その他、色々な疾患が原因でめまいを起こします。

ここで、めまいを改善する薬について紹介します。めまいの薬は、血流を改善したり、神経を修復したりしてめまいそのものを抑える薬、めまいに伴う症状を改善する薬の2種類に分けられます。

めまいの改善には多くの場合、時間がかかることもあります。お薬だけではなかなか改善しないのがめまいの特徴でもあります。

最後に、めまいが起きた時の対処法を紹介します。めまいが起きたら、まずは安静を保ち、気持ちを落ち着かせることが肝心です。

ただし、「激しい頭痛」「手足に力が入らない」「舌がもつれて話しづらい」などの症状がある場合には、出来るだけ早く救急病院などを受診してください。



種類	主な商品名(一般名)	作用
抗めまい薬	メイロン(炭酸水素ナトリウム) メリスロン(ベタヒスチン)	脳及び内耳の血流を増加させてめまいを抑える
循環改善薬	セファドール(ジフェニドール) アデホス顆粒(ATP:アデノシン三リン酸) カルナクリン(カリジノゲナーゼ)	
制吐薬	トラベルミン(ジフェンヒドラミン) プリンペラン(メトクロプラミド)	めまいに伴う吐き気や嘔吐を抑える
抗不安薬	セルシン(ジアゼパム)	めまいに対する不安を和らげる
浸透圧利尿薬	イソバイド(イソソルビド)	リンパの流れを良くしてめまい発作を改善する
ステロイド薬	サクシゾン(ヒドロコルチゾン) プレドニン(プレドニソロン)	神経の炎症やめまいに伴う難聴を改善する
ビタミン剤	メチコバール(メコバラミン)	ダメージを受けた末梢神経を修復する

# 健康教室

今後も予定しています。どなたでもご参加できますので興味のある方はぜひ一度足を運ばれて下さい。当院ホームページにおいても、健康教室の様子やお知らせなど掲載しております。「健康教室 成仁会」で検索して下さい。

## 第76回 「お口を鍛えて楽しく食べよう」 ～誤嚥性肺炎とご縁のない生活へ～ 言語聴覚士 中村 優利

言語聴覚士により、誤嚥性肺炎が発症しやすいリスクの説明を行いました。また、実際に飲み込む力のチェックや肺炎予防の体操等を体験して頂くことで参加者からは「簡単だから自宅でもやってみよう」との声が挙がりました。今後も毎日の食事が楽しくなるように予防に努めていきましょう。



## 第77回 「膝の老化を食い止める」 ～目指せマイナス5歳膝～ 理学療法士 和田 奈々

身体老化の代表格である変形性膝関節症を予防する為、自宅で出来る軽負荷な運動を専門知識を持つ理学療法士が提案しました。今回は、10名を超える参加者に集まって頂き、一緒に身体を動かす事が出来ました。実際の生活で出現する膝に関する身近な質問も多くありました。今後も日常の空き時間で、効率的に身体を動かし、老化予防に努めていきましょう。



# ナースエイド

ナースエイドとは看護師の指示のもと、患者さんのサポートをするお仕事です。

看護師や准看護師と違い資格がないため、補助的な業務が中心となり、患者さんの介助や環境整備など医療行為以外の業務を行います。

医師のサポートを看護師が行い、看護師のサポートをナースエイドが行うと考えていただくと分かりやすいでしょう。

当院では初めての職種であるため、今から活躍の場を広げていく予定です。



吉原 佳代

看護部外来

上田 麻紀

# 2018年度 診療報酬改定

平成30年度診療報酬改定

## 平成30年度 診療報酬改定の概要

### I 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

#### 医科

1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価
2. 外来医療の機能分化、かかりつけ医の機能の評価
3. 入退院支援の推進
4. 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
5. 医療と介護の連携の推進

#### 歯科

1. かかりつけ歯科医の機能の評価
2. 周術期等の口腔機能管理の推進
3. 質の高い在宅医療の確保

#### 調剤

1. 地域医療に貢献する薬局の評価

### II 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実

#### 医科

1. 重点的な対応が求められる医療分野の充実
  - 1) 小児医療、周産期医療、救急医療の充実
  - 2) 緩和ケアを含む質の高いがん医療等の評価
  - 3) 認知症の者に対する適切な医療の評価
  - 4) 地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療の評価
  - 5) 感染症対策や薬剤耐性対策、医療安全対策の推進
  - 6) 適切な腎代替療法の推進
2. 先進的な医療技術の適切な評価と着実な導入
  - 1) 遠隔診療の評価
  - 2) 手術等医療技術の適切な評価

#### 歯科

1. 口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療の推進

#### 調剤

1. 薬局における対人業務の評価の充実

### III 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進

1. チーム医療等の推進(業務の共同化、移管等)等の勤務環境の改善
2. 業務の効率化・合理化

### IV 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の強化

1. 薬価制度の抜本改革の推進
2. 費用対効果の評価
3. 調剤報酬(いわゆる門前薬局等の評価)の見直し

※出典：厚生労働省保険局医療課「平成30年度診療報酬改定の概要」より

平成30年4月に診療報酬が改定されました。診療報酬は、医療機関の診療に対して保険から支払われる報酬の改定で、物価や人件費などの動向に応じて、2年に1度行われています。厚生労働省は、どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現(地域包括ケアシステムの構築)などを目標に、2025年に向けて大きく人口構成が変化していくなか必要な医療が提供できるよう取り組むことができる改定内容となっています。

今回の改定では、患者様が入院から退院まで安心して治療に取り組めるよう入院前からの情報共有等の支援についても評価されるようになりました。また、ICTなどの先進技術を活用した診療実績が評価されるようになりました。

当院でも今回の改定に伴い、電子カルテの導入や病床編成などを行っていく予定です。患者様・地域住民の皆様に信頼される病院づくりと地域包括ケアシステムの構築に向けて尽力していきます。

# 2018年度 介護保険改定

平成30年4月に介護保険制度も改正になりました。今回は、医療保険・介護保険・障害児者福祉サービス3つのトリプル改正で6年ぶりの改正となっています。

介護保険改正内容は、多岐にわたり見直しが図られています。その中でポイントをいくつかご紹介します。



## 自己負担額の見直し…3割負担の導入 平成30年8月～



世代間の公平性を保ち、介護保険制度を持続させていくという観点から、一部のサービス利用者の負担を2割から3割に引き上げることになりました。ただし、月額44,000円の負担上限が設定されています。介護保険サービスの自己負担は、介護保険制度スタート時は原則1割でした。しかし、平成26年(2014年)の改正で一定以上の所得のある人は2割負担となりました。今改正では、さらに2割負担の人のうち「特に所得の高い層」の負担割合が3割となります。

## 福祉用具レンタル価格の見直し 平成30年10月～



現在の福祉用具レンタル(介護ベッド、車いす、歩行器など)については、同じ商品であってもレンタルを扱う業者によって価格に差があるのが実情です。これは、業者によって仕入れ価格や点検費用などが異なるために起こります。今改正では価格の見直しを行い、利用者が適正な価格でサービスを受けられるようにします。

## 新しい介護保険施設「介護医療院」の創設 平成30年4月～



今後も要介護者の増加が見込まれ、また慢性的な医療や介護ニーズも増えることなどから新しい介護保険の施設として平成30年4月以降に誕生するのが「介護医療院」です。これは、長期にわたって療養するための医療と、日常生活を送る上での介護を一体的に受けられる施設となります。現在ある「介護療養病床」についてはいずれ廃止することとされています。今改正で廃止期限が6年間に延長されました。

## 新たに「共生型サービス」を位置づけ 平成30年4月～



平成30年4月から、介護保険と障害福祉の両制度に新しく「共生型サービス」が位置づけられました。このサービスの目的は、高齢者と障害児者が同一の事業所でサービスを受けやすくすることです。例えば障害福祉サービスを利用してきた方が高齢者となり、介護保険サービスに移行する際は事業所を変更せざるを得ない場合もありましたが、今改正ではそうした不便さ解消に期待されています。